

道下 美里さん
×
小川 洋
福岡県
知事

リオデジャネイロパラリンピック女子マラソン(視覚障害)で、パラリンピック初出場ながら銀メダルを獲得した道下美里選手に大会の感想や今後の目標などについて聞きました。



小川知事(以下、知事)：銀メダル、おめでとうございます。後半から追い上げての逆転、見事なレースでした。

道下美里さん(以下、道下)：ありがとうございます。レースでは伴走者と2人で走るのですが、練習ではたくさんの方のサポートがありました。そんなみんなの思いが原動力でした。必ずメダルを取りたいと思っていたので、ゴールした瞬間はすごくホッとしました。でも表彰台でスペインの国歌が流れたときは悔しさが込み上げて、涙が溢れてしまいました。

知事：まさに「チーム道下」でつかんだ銀メダルですね。

道下：そうです。みんなのために負けられない、私が諦めてなるものかと思って走りました。

知事：レース以外でも楽しむことはできましたか。

道下：リオはものすごく陽気な雰囲気が漂っていて、気持ちがとても高揚しました。日本食も含め各国の料理が用意されていて、私も他の日本選手も、良い環境で過ごすことができました。

知事：福岡県でも、ラグビーW杯の試合があります。道下さんなどアスリートの皆さんの意見も参考にして、福岡県らしい雰囲気で選手を迎えたいと思います。

道下：試合中やレース中は、皆さんの応援が選手のパワーになります。福岡県はきっと盛り上げてくれる人がたくさんいます。それが強みだと思います。

知事：県民の皆さんと一緒に、国際大会やそのキャンプで福岡県にお見えになる選手を温かく迎え、盛り上げたいと思います。道下選手にも、福岡県の良さをいろいろなところでPRしていただければと思います。

夢中になれる、好きなものを見つけ

知事：道下さんが陸上を始めたきっかけ、また、パラリンピックを目指したのはいつ頃ですか。

道下：ダイエットがきっかけです(笑)。目が不自由になり、足元が不安で運動不足気味になってしまい、それを解消しようと始めました。2006年ころにはパ

ラリンピックを意識していました。初めは中距離でしたが、2008年にはマラソンに変更しました。

知事：長距離が得意だったのですか。

道下：走ることは好きでしたが、実は持久走大会でいつもビリでした。でも、好きなことには時間を忘れて夢中になれるし、努力もできます。子どもたちにはぜひ好きなことを見つけてほしいですね。

知事：きっかけ、そしてやり続けることが大切ですね。先日、道下選手にもゲストで来ていただきましたが、県では、障害のある小中学生にさまざまなスポーツを体験してもらう事業を行っています。子どもたちに自分の好きなこと、可能性を見つけてほしいと思います。

道下：未来のメダリストになったら、もっとすてきですね。

誰もが住みやすい街になるために

知事：2020年東京での金メダルに向けて、マラソンに打ち込む日々が続くようですが、そのパワーの源は。

道下：目が不自由になって、私自身、社会とのバリアを感じるがあります。競技をする、メダルを取る私を通じて、多くの方が障害に対しての知識を持ち、みんなが住みやすい街になるきっかけになればと思っています。ベストな状態で東京にチャレンジして、金メダルを取りたいと思います。

知事：今後のご活躍を楽しみにしています。私も県民の皆さんが福岡県に生まれて良かった、生活して良かったと思っただけの「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して頑張りたいと思います。

みちした みさと
道下 美里

昭和53年生まれ 山口県下関市出身

山口県立盲学校在学時に陸上を始め、その後フルマラソンに挑戦。平成21年の結婚を機に太宰府市に転居。リオデジャネイロパラリンピックでは、女子マラソン(視覚障害)で銀メダルを獲得。現在、三井住友海上火災保険(株)所属。